



学校評価アンケートから見えてくるもの（後期）

本校では、「主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める」「日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。」等を今年度の指針として教育活動を進めています。ご協力いただきました後期の学校評価アンケート結果（1年生から6年生までの児童、保護者の皆様、教職員）についてお知らせします。今後の山階小学校の指針の一つとして大切にしていきたいと考えています。質問は、知・徳・体・全般と4分野にわたって行い、質問の項目は児童、保護者とも視点を同じにしています。多岐にわたるその中で、山階小学校の特徴的な項目を紹介し、考察します。

良い点（そうおもう、だいたいそうおもう）が多い質問項目から

1. **学校の勉強はよくわかる ** (知①) - 1・2年: 92.9% - 3~6年: 93.9% - 保護者: 91.3% - 教職員: 100%	2. **学校は楽しい ** (徳①) - 1・2年: 98.9% - 3~6年: 91.2% - 保護者: 94.5% - 教職員: 100%	3. **友達と協力してなかよく過ごしている ** (徳②) - 1・2年: 97.9% - 3~6年: 95.8% - 保護者: 95.4% - 教職員: 94.1%
4. **複数の教員による指導 ** (徳⑩) - 1・2年: 100% - 3~6年: 95.3% - 保護者: 93.2% - 教職員: 100%	5. **健康・安全への留意 ** (体③) - 1・2年: 98.9% - 3~6年: 89.3% - 保護者: 95% - 教職員: 100%	6. **地域とのかかわり ** (全③) - 1・2年: 95.8% - 3~6年: 88.8% - 保護者: 97.8% - 教職員: 100%

1. **学校の勉強はよくわかる** (知①)

学校での学びを評価されていると考えられる結果なのでうれしい結果と言えます。今後も継続的な教員研修を行い、授業の質の向上を目指し、授業内容を工夫し、子どもたちが理解しやすいように努めたいと考えます。そして子どもたちが主体的に学べる環境を整えていきます。

2. **学校は楽しい** (徳①)

友達との良好な関係や楽しい授業が、子どもたちの学校生活を充実させています。友達と協力して活動する機会が多く、楽しい学校生活を送ることができます。今後は、クラス活動の充実や友達作りのサポートを強化し、子どもたちがさらに楽しい学校生活を送れるように努めます。

3. **友達と協力してなかよく過ごしている** (徳②)

適切な学習環境や友達との交流機会が豊富であることが、子どもたちの協力意識を高めています。グループ活動の推進や協力学習の導入を進め、主体的・対話的で深い学びを重視して学べる環境を整えます。

4. **複数の教員による指導** (徳⑩)

チームティーチングの効果や専門性の高い指導が、子どもたちの学びを支えています。複数の教員が関わることで、より多角的な指導が可能となっています。教員間の連携を強化し、指導方法の共有を進めることで、さらに効果的な指導を実現します。

5. **健康・安全への留意** (体③)

健康教育の充実や地域の方がと協力した安全対策の徹底が、子どもたちの健康と安全を守っています。日

常的な見守り活動や健康指導が効果を上げています。健康教育プログラムの継続や安全指導の強化を図り、また、地域の協力を仰ぎながら子どもたちが安心して学校生活を送れるように努めます。

6. **地域とのかかわり** (全③)

地域との連携や地域活動への参加が、子どもたちの成長を支えています。地域の方々との交流が、子どもたちにとって貴重な経験となっています。地域イベントの開催や地域との協力体制の強化を進め、地域とのつながりをさらに深めていきます。

評価が低かった点（あまりそうおもわない、おもわない）が多い質問から

1. **基本的な生活習慣

** (体①)

- 1・2年: 89.6%
- 3~6年: 86.5%
- 保護者: 94.5%
- 教職員: 100%

2. **進んで読書をしている

** (知②)

- 1・2年: 88.3%
- 3~6年: 82.7%
- 保護者: 48.6%
- 教職員: 88.2%

3. **進んで家庭学習をしている

** (知③)

- 1・2年: 88.3%
- 3~6年: 82.7%
- 保護者: 48.6%
- 教職員: 94.1%

4. **子どもは自ら考えて行動（主体性）

** (知④)

- 1・2年: 91.5%
- 3~6年: 84%
- 保護者: 75%
- 教職員: 58.8%

1 **基本的な生活習慣** (体①)

就寝・起床の時間が不規則であったり、朝食を欠食する子どもが多かったりすることが考えられます。生活習慣の見直し指導を進めることが肝要です。学校での生活習慣に関する授業や食の指導を通じて、子どもたちに規則正しい生活の重要性を教えることが必要となってきます。また、保護者への啓発活動も必要です。ほけんだよりなどを通じて情報提供を行い、家庭での生活習慣の見直しを促すことが大切になってきます。

2. **進んで読書をしている** (知②)

家庭での読書習慣が不足していることや、デジタル機器の使用が増加していることが影響していると考えられます。具体的な改善策としては、以下のような方策が考えられます。

読書時間の確保**: 現在行われている学校での「全校読書」の時間を守り、毎日一定時間を読書に充てる時間を確保する。

読書推進活動の強化**: 読書週間の取組を強化したり図書委員会の活動を活性化したりすることで、子どもたちの読書意欲を高める。

3. **進んで家庭学習をしている** (知③)

家庭学習の習慣が定着していないことや、子どもたちの学習意欲がまだ高まっていないことが考えられます。手立ての一つとして、「自主学習の指導強化」が考えられます。学校で自主学習の方法を教える授業を行い、子どもたちに効果的な学習方法を身につけるようにすることも必要と考えます。また、家庭学習のサポートも必要な場合があります。保護者向けに家庭学習のサポート方法を紹介し、家庭での学習環境を整える手助けをすることも手立ての一つとして考えられます。

4. **子どもは自ら考えて行動（主体性）** (知④)

自主性の育成が不十分であり、指示待ちの傾向が見られることが考えられます。自主性を育む活動を推進するため、委員会活動やグループ活動を通じて、子どもたちが自ら考えて行動する習慣を育むことが必要です。自ら考えていく活動の機会を増やしていくべきと考えます。

これらのアンケート結果を踏まえ、さまざまな取り組みを通じて子どもたちの成長を支えていきたいと考えています。今後も、保護者、地域の皆様と協力しながら、より良い教育環境を整えてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。